

平成29年度第2回淡路島地域公共交通活性化協議会名簿

【委員】

(敬称略)

	区分	職名	氏名	備考	代理
1	計画作成市	洲本市企画情報部長	寺岡 朗裕	副会長	
2		南あわじ市建設部長	原口 久司	監事	
3		淡路市都市整備部長	井戸 弘	監事	次長兼都市総務課長 椎木孝一
4	公共交通事業者	(公社)兵庫県バス協会 専務理事	中澤 秀明	欠席	
5		(公社)兵庫県バス協会 淡路地区部会長 (淡路交通㈱ 運輸部 部長)	吉田 祐司		業務課長 森崎芳文
6		舞子高速バストップ協議会 (神姫バス㈱) バス事業部計画課 課長	前田 啓介		
7		(一社)兵庫県タクシー協会淡路部会長 ((有)みなとタクシー)	池田 昌宏		
8		㈱淡路ジェノバライン 運航統括管理者	清水 紀晶		
9		沼島汽船㈱ 代表取締役	松本 正也		
10		(株)淡路関空ライン 副社長	宮本 肇		
11	道路管理者	兵庫県淡路県民局洲本土木事務所 所長	土江 明		所長補佐 家永薫
12	港湾管理者	国土交通省近畿地方整備局兵庫国道事務所洲本維持出張所 所長	大嶋 悦彦	欠席	
13	商工団体	洲本商工会議所 事務局長	谷池 淳司		
14		五色町商工会 事務局長	清水 正隆		課長 長井栄子
15		南あわじ市商工会 事務局長	宮地 良幸		
16		淡路市商工会 事務局長	辻本 稔		
17	観光団体	(一社)淡路島観光協会 事務局長	福浦 泰穂		
18	住民代表	洲本市連合町内会 会長	高濱 義尚		
19		南あわじ市連合自治会 会長	原 孝	欠席	
20		淡路市連合町内会 会長	上野 忠		
21	公安委員会	洲本警察署 交通課長	木下 義男		
22		南あわじ警察署 交通課長	篠田 敦志		
23		淡路警察署 交通課長	宮崎 正一		
24	学識経験者	摂南大学 理工学部 教授	福島 徹	会長	
25	観光有識者	㈱JTB西日本 教育旅行神戸支店 支店長	高崎 邦子	欠席	

【オブザーバー】

	職名	氏名	備考	代理
1	国土交通省近畿運輸局交通政策部交通企画課 課長	安江 亮		専門官 稲留健一郎
2	国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部 首席運輸企画専門官	吉本 道明		総務企画部企画調整官 林成好
3	兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課 課長	登日 幸治		副課長 正垣あおい
4	洲本市健康福祉部福祉課 課長	北岡 秀之		
5	南あわじ市企画部ふるさと創生課 課長	栄井 賢次		
6	淡路市企画政策部まちづくり政策課 課長	江崎 昌子		

淡路地域における公共交通ネットワーク構築の方向性

現 状

自動車が無いと暮らせない生活出来ない
「移動制約のある島」

公共交通による業務活動・観光が困難な
「来島者に優しくない島」

○高速バスが鉄道の代わりだが、島内での乗降は不可
○路線バスは、主要幹線でも1本/h程度
(運行時間帯も概ね7時～19時)

高速バスの来島は、6.7%
通勤・通学での利用は1.9%

理 想 像

明 石 海 峡 大 橋
開 通 直 後 の 島 内 交 通

地域住民の公共交通による移動を
来島者の公共交通利用の収入で維持

島全体の移動の環境水準を
揃えるため公共交通を一元管理

参考:路線バスの現状

路線バスの便数・運行時間が貧弱

最も便数が多い縦貫線でさえ、大幅なサービス低下

	H10	H29
岩屋～洲本	40便	11便
終発 洲本発	21:30	19:10
洲本～福良	38便	11便
終発 洲本発	22:00	20:15

課 題

1. 生活交通バスの便数増加、運行時間帯の拡大

2. 来島者の公共交通利用促進

3. 一元管理の仕組み等の検討

実現に向けた具体的な取り組み

1. 路線バスの強化・充実・支援

- ①運行拠点の構築(津名、洲本BT、陸の港西淡 etc)
- ②路線ごとの役割の明確化
 - ・4条事業者:主要幹線路線(縦貫線(R28)、西浦線(福良江井岩屋線)etc)
 - ・コミバス(行政):その他幹線路線←主要幹線への集約を担う
 - ・自主運行バス等(住民):幹線以外←上記路線への集約を担う
- ③その他2次交通対策(EVカー、Taxiアプリetc)

2. 高速バスの支援・充実

- ①乗換案内の整備(洲本高速BT、陸の港西淡etc)
- ②ICカードの導入促進

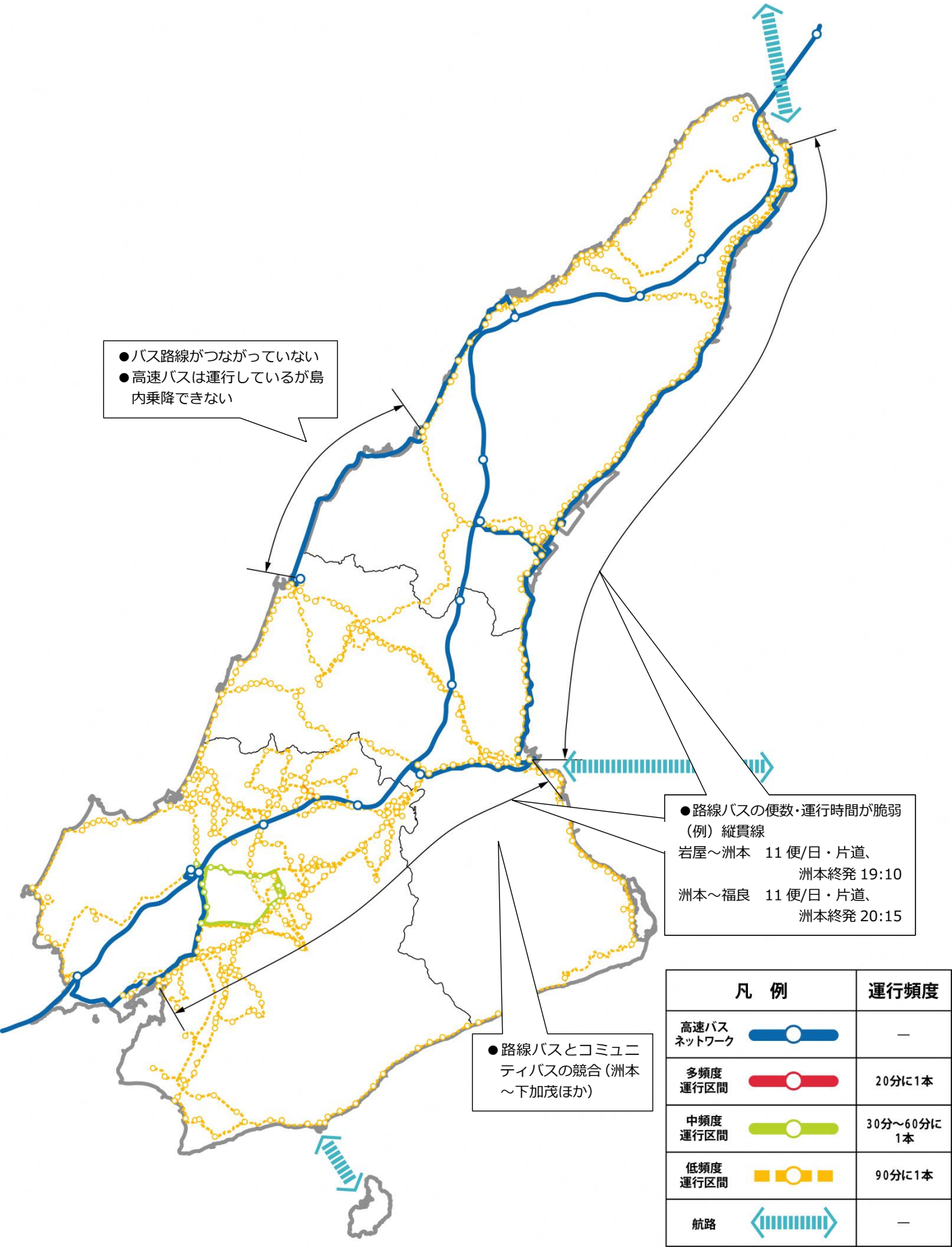
3. 公共交通の観光利用促進

- ①“かわりだねバス”の導入
- ②周遊可能な企画乗車券の検討

4. 島内公共交通の一元管理

- ①複数の事業者の時間、料金、施設の調整
 - ・乗継時間の短縮
 - ・乗継割引制度の導入検討
 - ・バス停等施設の共同利用
- ②一元的に管理する仕組みの検討

公共交通ネットワークの現状



公共交通ネットワークの将来像

